



■ 後藤 信二（ごとう しんじ）

世界中の人々が憧れる大地、北海道。そして、大好きな洞爺湖と有珠山。
この素晴らしい自然と、貴重な地球資源の保全、火山と人々との共生への
ボランティア活動を、今後のライフワークとしてゆきます。

略歴

東京都出身、洞爺湖町在住。

航空工学を専攻するも、オイルショック（死語？）で希望の航空業界に進めず、金融機関システムエンジニアの道を歩む。

2014年3月、定年退職までの我慢ができず早期退職、長年憧れの大地、北海道洞爺湖町に、東京から夫婦のみで移住。

ワカサリゾート（有珠山ロープウェイ）入社をきっかけに、洞爺湖有珠山ジオパークのとりこになる。

主な活動歴

- 2014年4月 洞爺湖町 環境審議会委員
- 2014年8月 有珠山ロープウェイ入社（2015年10月定年退社）
- 2014年9月 有珠山周辺地域ジオパーク友の会会員
- 2015年5月～ 有珠山ロープウェイガイドツアー
- 2015年5月 洞爺湖町 まち、ひと、しごと創生有識者会議委員
- 2016年4月 洞爺湖町 まちづくり審議会委員
- 2016年4月 洞爺湖町 学校支援ボランティア会員
- 2016年10月 北海道地域防災マスター認定
- 2016年11月 有珠山ガイドの会会員
- 2017年5月 洞爺湖町 社会福祉協議会ボランティア

得意分野

マリンドイビング、小型船舶操縦士、自家用飛行機操縦士、大型自動車、応急手当普及員（講習会の開催等）、介護職員初任者研修、アマチュア無線通信士（JF1HRN）

抱負や自己PRなど

東京では、自宅の窓から外を眺めると、人の行列が歩いていました。洞爺湖町の自宅からは、洞爺湖が一望でき、エゾリスやエゾシカ、キタキツネが生活しています。この素晴らしい自然と、貴重な地球資源の保全、火山と人々との共生へのボランティア活動を今後のライフワークとしてゆきます。

具体的には、

- ①洞爺湖有珠山ジオパークの知識を常に深めていく。
- ②地域との絆をさらに深めていく。
- ③伝える相手に合わせた技術を取得していく。
障がい者等の生活弱者に優しいVM（火山マイスター）
外国の方々に優しいVM
- ④子供たちへの語り部となっていく。

子供たちは、

「言葉の体温」を通して命の温もりを知る。

「声の響き」を通して喜びや悲しみ、命のかけがえなさを感じ取る。

→農家の方々が豊かな実りを願って種を蒔く様に、「防災と平和の種」を蒔いていきたい。